

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年										2024年												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 ~1日	9月 ~8日	9月 ~15日	9月 ~22日	9月 ~29日	10月 ~6日
カンピロバクター	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	50	39	41	6	12	15	11	6	15
病原性大腸菌	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	76	83	70	18	13	23	18	13 (14)	22
腸管出血性大腸菌	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	2	1	6	0	0	1	1	0	0
サルモネラ	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	8	12	29	4	2	5	2	0	4
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	21	11	17	2	3	6	9	4	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	10	8	6	3	5	4	6	3	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	5	0	1	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	1	0	0	1	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第40週(9月30日~10月6日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6	1		1	1			3
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2						1	1
四類	4	日本紅斑熱	3			2			1	
		レジオネラ症	1		1					
五類	12	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4		1		1		1	1
		百日咳	2					2		
		梅毒	6					5		1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、鞆野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり0.50人の報告があり、前週と比べて増加しました。
 また、9月30日に、広島市で今シーズン初めてのインフルエンザ様疾患による学級閉鎖が報告されました。現在、流行開始の目安(定点当たり1.00人)には達していませんが、今後、本格的な流行を迎えることが予想されます。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。
 【参考】今シーズン初の市内インフルエンザ様疾患による学級閉鎖の報告がありました(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/houdou/houdou/401518.html>



2 マイコプラズマ肺炎

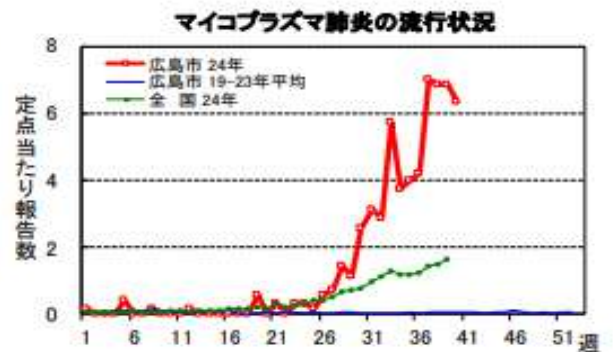
定点当たり6.33人の報告があり、多い状況が続いています。全国も増加傾向で推移しています。感染予防対策を心がけましょう。

3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.50人の報告があり、前週と比べるとほぼ横ばいです。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

4 百日咳

2件の報告があり、今年の累計は16件となりました。感染経路は、飛沫感染と接触感染です。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	18	0.50	0.98	↑	小児科	ヘルパンギーナ	2	0.09	0.97	
	新型コロナ(COVID-19)	54	1.50		→		流行性耳下腺炎	-	-	0.03	
小児科	RSウイルス感染症	7	0.30	0.70		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	咽頭結膜熱	1	0.04	0.24			流行性角結膜炎	5	0.63	0.60	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	1.43	1.04	↘	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	48	2.09	2.32	↘		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	1	0.04	0.05			マイコプラズマ肺炎	38	6.33	0.06	→
	手足口病	38	1.65	1.49	↘		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.09			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	7	0.30	0.23							

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)
 増減 ↗ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)
 微増減 ↘ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)
 横ばい ⇄ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	梅毒	5	127	20歳代・2人、30歳代・1人、40歳代・2人
5	百日咳	2	16	10歳未満、10歳代